



松浦市ってどんなまち？

海、山の四季折々の風景。新鮮な旬の食材。

おだやかな気候。都心との程よい距離。

コンパクトだから、安心。楽ちん。

余裕があるから、やさしくなれる。

余白があるから、自分らしく生きられる。

地勢

- 穏やかな伊万里湾を囲む独特の地形
- 市内には海、山、川、滝、棚田など豊かな自然がいっぱい
- 釣り、SUPなどマリネジャーが人気

気候

- 地震が少ない
- 海沿いだから気温の変化が穏やか
- 海沿いは積雪が少ない

アクセス【福岡空港まで】

- 車で約110分
(西九州自動車道 / 前原東IC-拾六町IC、福岡都市高速道路 / 福重JCT-空港通IC)

西九州自動車道開通後は車で約70分に！

- 公共交通機関で約180分
(松浦鉄道 / 松浦駅-伊万里駅、高速バス / 伊万里駅前-福岡空港国内線)
- 車、公共交通機関で約180分
(JR筑肥線・福岡市営地下鉄 / 東唐津駅-福岡空港間)

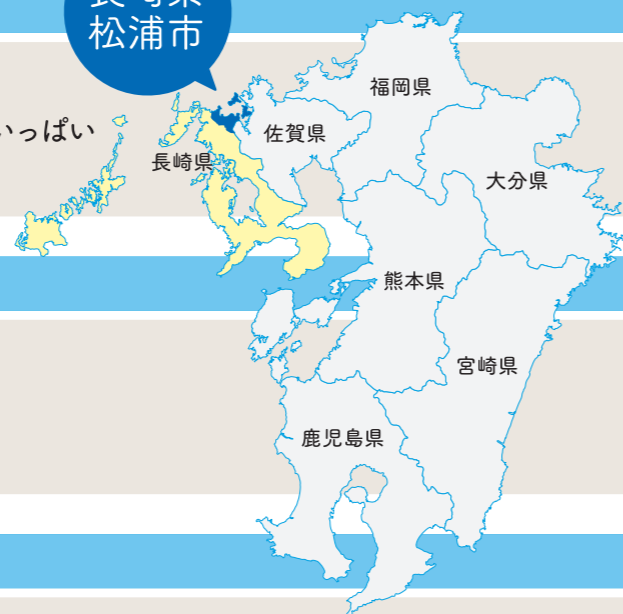
問い合わせ先

松浦市 政策企画課
〒859-4598
長崎県松浦市志佐町里免365番地
TEL0956-72-1111 FAX0956-72-1115
MAIL seisaku@city.matsuura.lg.jp

松浦市
ホームページ

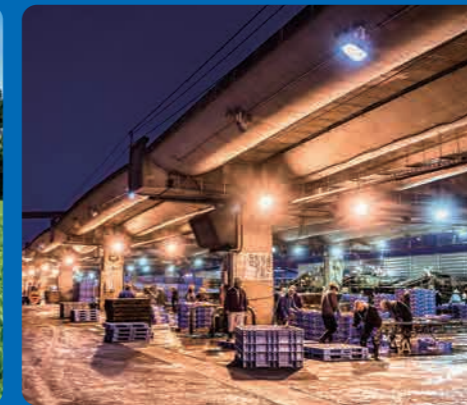


長崎県
松浦市



松浦移住

長崎県松浦市移住ガイドブック



- 01 座談会①「子育ても、仕事も、自分らしさも。」
- 03 座談会②「海も、島暮らしも、地域のつながりも。」
- 05 座談会③「持ち味も、やりがいも、まちおこしも。」
- 07 松浦のしごと
- 09 松浦の食と暮らし
- 11 松浦の地域いろいろ
- 13 市内インフォメーション

15 松浦市ってどんなまち？



移住者座談会①子育て編



海も山もあって
食が充実。
子どものびのび!

子育ても、
仕事も、自分らしさも。

上段左から:山内 由香(やまうち ゆか)さん/Jターン・30代・御厨町在住、川浪 敦子(かわなみ あつこ)さん/Jターン・50代・志佐町在住 下段左から:中川 恵都子(なかがわ えつこ)さん/Jターン・60代・志佐町在住、松尾 絵里香(まつお えりか)さん/Jターン・30代・志佐町在住、菅野 愛奈(かんの あいな)さん/Jターン・30代・福島町在住

松浦にJターンした3人の女性と、Iターンした2人の女性。

年代も職業も多様なメンバーに共通するのは、子育ての経験と「好き」を仕事にしたこと。

なぜ松浦へ?なぜその仕事を?子育てとの両立は?それぞれに暮らす地域はどんなところ?

松浦で暮らす女性のリアルな体験談をご紹介します。

日常の景色と暮らしこそ松浦の魅力。

一番最近、松浦へ移住されたのは菅野さんですね。きっかけは?

菅野さん: 関東出身なのですが、気候は温暖で、ご飯も美味しい九州に昔から住んでみたいと思っていて、2011年に家族で熊本へ移住しました。その後、福島町に偶然見つけた海が見える家を気に入り、2019年に移住しました。福島の景色が好きで、特に土谷棚田が綺麗ですよ。

川浪さん: 松浦は日常の何気ない景色も風光明媚で、何年住んでも癒されます。田んぼに水が入る時期や、そこに夕日が落ちる時など鳥肌が立つくらい綺麗ですね。子どもの頃にこの景色を見ていたら、きっと松浦に帰って来たくらいだと思います。

食材などの買い物はどうされていますか。

菅野さん: 農水産物直売所「とれたて福の島」によく行きます。お店の方が美味しい料理の方法を教えてください。そこ以外だと、車で20分ほどのスーパーに行っています。

山内さん: 周りに漁師さんや農家さんが多いので、魚や野菜を頂くことが多いですね。それ以外の買い物は、車で市内のスーパーに行きます。

松尾さん: 野菜は自身のお店で販売しているので、たくさんあります。魚は、ご近所やお客さんから頂くことが多いです。魚のお値打ち感、他の地域ではなかなか無いですよ。旬の物を頂くので、とてもありがたいです。

川浪さん: 野菜のおすそ分けも当たり前になっていますが、こんなありがたいことないですよ。幸せな場所だと思っています。

子育て支援が充実。子どももママも仲良く交流。

中川さん: 松浦の子育て支援は充実しているの、マタニティの時から利用してもらい、安心して子育てして欲しいですね。市外へ引っ越される方が「松浦は子育てしやすく、お友達も相談もできたので、引っ越したくない。」と話されていました。

松尾さん: 私は時々、URACCO(うらっこ)*に遊びに行ったり、保育園の子育て支援イベントに参加しています。お店のお客さんにも松浦の子育て支援を知ってもらいたいので、自分が参加して、SNSで発信・紹介しています。

中川さん: URACCOは1歳になる前のお子さんの利用が主ですね。お母さんが育児をするうえで同世代のお子さんの様子を見たり、発育や離乳食のことを相

談するなど交流の場となっています。市役所には子育て世代包括支援センター「だっこだっこ」があり、助産師さんに来てもらい、お母さんたちのおしゃべり会も開催していますよ。

お休みの日はどう過ごされていますか?

松尾さん: 志佐町には、美味しいお店がたくさんあるので、休日はできるだけ、外食します。娘は公園が好きなので、中央公園に遊びに行くことも多いです。

山内さん: 御厨町は海と山に囲まれ、遊び場がたくさんあります。市外に出掛けることもあります。

松浦での暮らし・子育てで、

困ったことはありますか?

川浪さん: 医療機関ですね。健康でないといけなと思い、走り始めました。

山内さん: 市内には小さい子どもを診てもらえる救急病院が無いので、時間外や休診日に体調が悪い子どもを佐世保まで連れて行くのが大変でした。

好きを仕事に。ママだからこそ自分らしく。

お仕事を始められたきっかけは?

松尾さん: 商店街でカフェ「MatsuoNouen+Coffee」を始めて、6年になります。カフェを始めたのは、夫が「人が集まれる場所を作りたい」という思いを持っていてからです。当初は気軽に寄れるようテイクアウトのみでしたが、ゆっくりしたい方のためにテーブル席を作り、お子さん連れの方にも来ていただけるようになりました。

川浪さん: カフェ「ほっとほっと」を夫婦ではじめて、20年になります。子どもに楽しく仕事している姿を見せたいと思って、福岡の或るカフェでカプチーノを飲み、その美味しさにびっくりし、「松浦には無い、これをやりたい。」と思って始めました。食事メニューにも力を入れるようになりました。

菅野さん: モロッコ雑貨を現地から直接

仕入れて販売するネットショップ「miiveee」を運営しています。きっかけは、世界遺産の番組を見てモロッコにすぐ惹かれ、実際にモロッコに行き、革工房で働かせてもらいました。その時の出会いが今の仕事につながっています。

山内さん: 子ども服のセレクトショップ「にこいろ」をオープンして3年になります。子育てを始めてから子供服を見るのが楽しく、松浦には子ども服のお店が無いので、自分でやってみようと思いました。以前は事務職で、接客は無理だと思っていましたが、大変だけど楽しいですね。こだわった商品をSNSでPRし、販売しています。SNSの効果もあり、市内外からお越しいただいています。

松尾さん: 種苗店はネットショップもしていて、近いうちには、実店舗の売上を超えるかもしれません。SNSで発信すると「松浦に行ってみよう」と言われる方もいて楽しいですね。上手く活用すれば、松浦でもいろんなことが出来ますよ。

川浪さん: SNSを活用しながらそういった仕事もできるというのは、松浦での新しい働き方・暮らし方の可能性かもしれないですね。

子育てしながらの自営業は大変では?

何か工夫されていることはありますか?

松尾さん: 夫の両親と同居しているから出来ていることはあります。自分のスタイル・子育てに合わせて営業していますが、営業時間外でもやるべき事はやらないといけません。そのオン・オフの切り替えが課題ですね。

菅野さん: うちは、私がほとんど在宅で仕事をしているため、夫婦で仕事と子育てのバランスを取りながら楽しくやっています。

山内さん: 私も夫の両親と同居で子育てと家計のサポートがあり、助かっています。お店は自分自身がホッとできる場所なのであってよかったと思います。

川浪さん: 皆さんもそうですが、子育てしている方のお店は、子ども連れでも行きやすいですよ。それぞれの世代で良い関係ができて、松浦でもそういったお店が増えるといいなと思いますね。

【松浦市の子育て支援情報】

高校生等までの医療費助成

0歳から高校生等までの医療費(保険診療分)について、1か月1医療機関ごとに800円を超える医療費を助成(2日以上受診のときは上限1,600円)

保育料等の助成

1号認定・2号認定こどもの副食費を4,500円/月まで助成。3号認定こどもは保育所等に同時入所の場合に2人目以降無料

インフルエンザ予防接種費助成

生後6か月から18才までの人が行うインフルエンザ予防接種費用を助成(自己負担額1,000円/回)

特定不妊治療(先進医療)費助成

特定不妊治療に係る先進医療費の助成(1回の治療周期において上限30万円)

ウッドスタート事業

生まれた赤ちゃんに誕生祝として地産地消の木製玩具をプレゼント

オリジナル絵本プレゼント事業

乳児健診の際に「だっこだっこ」、3歳児健診の際に「まーくんのたんけん」というオリジナル絵本をプレゼント

すくすく子育て応援事業(ベビー用品レンタル)

0歳から3歳までを対象にベビーベッドなどベビー用品を無料貸出し

みんなの子育て広場 *URACCO

【利用料・駐車場無料】

子育て支援員が常駐していて気軽に相談ができます。妊娠中のママや赤ちゃんとお客さん向けのイベントも。詳しくは子育て・子ども課のFacebookもしくはInstagramで。



instagram



青島はみんな
助け合いで
暮らしとるよ!

海も、島暮らしも、地域のつながりも。

左から:谷 浩介(たに こうすけ)さん・彩葉(いろは)さん/1ターナー・30代・星鹿町在住、川上 一代子(かわかみ いよこ)さん/70代・星鹿町在住

島民約200人。人口の約70%が漁業に関わる漁師の島・青島。

2017年、大阪から家族で移住した谷浩介さんは脱サラして漁師になりました。

「一代子ねえちゃん」と慕われる川上さんは、移住者にとっても良き相談相手。

谷さん一家の移住ストーリーと、川上さんが伝えたい“島暮らしに大切なこと”とは?

「海の近くで暮らしたい。」

30歳を目前に決意し、約8ヶ月で夢を現実に。

移住のきっかけを教えてください。

浩介さん:妻の祖父が新上五島町在住で、帰省するたびに海の近くで暮らしたいねと話していました。29歳のとき、「行動するなら30歳になる前だ。海暮らしなら仕事は漁師しかない」と移住を決意。妻の父の繋がりでも松浦の漁師さんに相談して、翌年には松浦の隣町に引っ越しました。そこからいろんな方に相談をして、新規漁業事業者の研修制度を知りました。松浦市内の漁港を案内してもらい、最初に訪ねた場所が青島でした。

島暮らしに不安はなかったですか?

浩介さん:離島かどうかよりも、漁師になること、地域に受け入れてもらえることが大事でした。青島では「漁師をやるなら受け入れをする」と言ってもらえ、2度目の訪問で雇い入れ先も決まりました。

彩葉さん:不安はありました。でも、仕事があって、子育てができることが大事だと考え、どうにか生活しようと思いました。

ご夫婦の現在の働き方は?

浩介さん:2019年に独立して素潜り漁をしています。獲るのはアワビ、サザエなどです。オフシーズンはまき網漁の応援に行ったり、休日は畑で野菜づくりをしています。

彩葉さん:現在は3人目の子どもの育休中ですが、今年7月から市内の事務職に復

職予定です。

これまでに苦労されたことは?

浩介さん:研修中のマグロの餌やりでは、サバ4トンを2~3時間投げ続けるため、最初は筋肉痛で動けませんでした。これも筋トレだと思って続けました。今は自動化され随分楽になりましたね。それに、青島の人は作業していると「手伝おうか」と声をかけてくれるんです。仕事が終わると、みんなで呑んだりします。

川上さん:漁師の仕事は、自分だけで解決できないことも出てきます。青島は、それを助け合って生活してきた島です。谷さんと島の人が話せる場が大事で、みんな助けたいという気持ちがあるんです。

海がもたらす、浩介さんの笑顔。
島がもたらす、子どもの成長。

移住して変わったと思うことは?

彩葉さん:夫が「楽しかった」と海から帰ってくる姿を見て、ここに来てよかったと思います。以前の夫は、終電で帰る生活で、どんな会話をしていたか思い出せないぐらいです。

浩介さん:アワビを毎日勘定していて、獲った記録を更新し続けると仕事に喜びを感じます。ウミガメと一緒に泳いだ日はテンションが上がったりします。子どもと過ごす時間が増え、料理もよく作るようになりました。朝飯に刺身、夜は握り寿司などを作ります。

彩葉さん:刺身はよく食べますね。一番上の娘は大トロとアワビが大好きです。のびのびと育っていて、近所の人も遊んでくれたり、声をかけてくれたりしてくれます。自分を見てくれる大人が多いのは子どもも安心みたいです。

住みにくくするのも住みやすくするのも自分次第。

人との関わりに変化はありましたか?

浩介さん:大阪では人付き合いがほとんどなかったです。仲良かったのは居酒屋の店長ぐらいですね。笑

彩葉さん:青島では周りの人が私たちをよく見てくれています。

川上さん:谷くんには「住みにくくするのも、住みやすくするのも自分自身やけんね。」って話すんです。青島は村姑(むらじゅうと)って言って、近所づきあいや行事の手伝いをしながら、自然といろんなことを覚えていけます。

谷くんたちが移住してくると聞いた時、青島がこれからどう変わるか楽しみになりました!目の前がぼっと明るくなったんです。青島は民泊体験をしていて、島の魅力を引き出してくれるのは外の人だという経験があり、島の仲間と盛り上げてほしいです。

彩葉さん:まずは自分たちがブレないようになりたいですね。周りから見たらまだ力不足なところもあると思いますが、できることからやっつけようと思います。

【松浦の島暮らし】

主産業は農業と漁業。
雄大な自然を満喫する暮らし。
鷹島



2009年、佐賀県唐津市との間に鷹島肥前大橋が開通。天気のいい日には、橋の上から、視界いっぱいに広がる海と空の真っ青な景色が見られます。島内では、雄大な自然を満喫できる遊び場が点在。真っ白い砂浜の海水浴場や玄界灘が一望できる高台、大型遊具や草スキー場がある施設もあります。【道の駅 鷹ら島】では、地元で育てられた養殖クロマグロなど新鮮な魚や野菜を購入できます。

新たなリゾート体験がここに。
海と棚田に癒される暮らし。
福島



1967年、佐賀県伊万里市との間に福島大橋が架けられ、48ヶ所の無人島・イロハ島や、日本棚田百選に選ばれた土谷棚田等が島民の心を癒しています。産業は、農漁業が盛ん。クルマエビの養殖も有名です。ここ数年は、バリ島をイメージしたグランピング施設、トレーラーハウスに宿泊するフランピング施設の開業や、温泉ホテルのリニューアル等、リゾートの島として注目を集めています。

【松浦市の移住支援情報】

定住奨励金

転入から5年以内に住宅を新築又は中古住宅を購入する場合に補助
(新築:単身世帯60万円、単身以外の世帯100万円に中学生までの子どもの数に応じて加算/中古住宅:単身世帯20万円、単身以外の世帯30万円に中学生までの子どもの数に応じて加算)※新築は市内業者利用に限る。その他要件あり

新生活奨励金

Uターン又はIターン者で転入と同時に民間賃貸住宅に入居した場合に奨励金(地域振興券)を交付
(45歳未満30万円/45歳以上65歳未満15万円)

結婚新生活支援補助金

夫婦ともに39歳以下で合計所得が500万円未満の新婚世帯に住居費及び引越費用等を補助(夫婦ともに29歳以下60万円まで/それ以外30万円まで)。

子育て世帯引越し奨励金

中学生以下の子どもと帯同して転入した世帯で、引越しの際に引越業者等を利用した場合に奨励金(地域振興券)を交付(上限5万円)
(勤務先から引越しに対する費用負担がある場合は、その額を除く)

空き家バンク

利活用推進事業

空き家バンクの登録物件について所有者又は所有者の承諾を得た者が市内業者を利用して改修や家財道具の処分、屋内清掃、不要物の解体等を行う場合に補助(2分の1補助50万円まで)

定住促進住宅 家賃減額制度

定住促進住宅の家賃を満15歳以下の子どもの数に応じて減額
(月額2,000円~最大5,000円)
新規転入世帯は入居階数に応じて家賃を減額(月額5,000円~10,000円)

移住お試し住宅

3LDKの平屋住宅。市街地から程近い便利の良い場所にあります。





持ち味も、
やりがいも、
まちおこしも。

松浦ならではの
やりがいや
面白さがある！

左から:近藤 哲朗(こんどう てつろう)さん/Jターン・60代・福島町在住、前田 裕治(まえだ ゆうじ)さん/30代・御厨町在住
千北 慎一(ちぎた しんいち)さん/Uターン・40代・志佐町在住、辻田 直太郎(つじた なおたろう)さん/Jターン・60代・志佐町在住

松浦で創業したソフトウェアのプログラマー、農業法人の経営者、製菓職人、一級建築士。

職業も年齢も松浦で暮らす理由も様々なメンバーが、松浦での創業について語りました。

若手からベテランまで、松浦ではじめた事業とは？

移住を検討する際の心配ごとにも、4人の実体験をもとにおこたえします。

持ち味を生かして創業
松浦での可能性。

みなさんの事業について教えてください。

前田さん:農産物の生産・販売を行う「カラフルファーム株式会社」を運営しています。密(しきみ)という仏花をメインに、食べられる花・エディブルフラワーにも挑戦しています。

千北さん:和洋菓子店「お菓子のちあん」を創業して5年目です。佐賀県伊万里市で9年間修行したのち独立しました。松浦が地域おこしで取り組んでいるアジフライのお菓子もつくっています。

辻田さん:松浦市役所を退職後、一級建築士として新築・古民家の改修を手掛ける「コウキラボ」を立ち上げました。市内の空き家(店舗)を購入してリノベーションしたレンタル古民家「泉の家」も運営しています。いい建築材料が残る建物を

使い続けること、古民家改修はコストが高いというイメージを変えたくて活動しています。

近藤さん:移住前は横浜に住んで、船舶や重機の機器開発メーカーのソフトウェア部門で働いていました。現在は「トルスソフト」という会社を立ち上げ、以前働いていた会社からソフトウェアのメンテナンスなどをリモートで請け負っています。

松浦で創業するメリットは何でしょうか？

千北さん:都市部は人口が多い一方で廃業率も高い。松浦は人と人とのつながりが深く、長く続けられると考えました。また、「松浦のおさんじ」という製菓店の集まりがあり、創業前に「一緒にやりましょう」と温かく迎えてもらいました。松浦の人はあったかいんですね。

辻田さん:日本全国で見ると古民家専門の設計事務所や建築家はいますが、松

浦にはいなかった。古い建物は環境に適合していて地域性もあり、まちの景観の一部を担っています。「誰かがせんばかな」と思い創業しました。小さなまちなので、同業種の方は松浦を活性化する同志のような感じですね。

情報発信はどのようにされていますか。

前田さん:自社サイト、SNSなどネット経由がほとんどですね。エディブルフラワーはネット通販もしていて、市内外で販路を開拓しています。

辻田さん:自社ホームページで発信しています。以前、鹿児島からホームページを見てご連絡をいただいたこともあり、海がある景色をインターネットで調べていたら、うちのホームページに辿り着いたそうです。

地域とのつながり
創業からまちおこしへ。

人とのつながりがあるゆえの事業の面白さがありますか？

近藤さん:松浦では地元のプログラマーと協業して、国のIT導入支援事業者の採択を受け、地元工務店の経理サポート専用ソフトを開発しました。地元の農家さんのIT導入をお手伝いしたりもしています。いろんなチャレンジができてありがたいですね。

千北さん:「松浦のおさんじ」チームで新しいお菓子づくりを計画しています。おさんじメンバーは、材料の調達先など教え合える関係です。

前田さん:農業も同じです。いい資材などは情報交換しますね。

辻田さん:顔の見える関係性、松浦だからこそできる「地域デザイン」の可能性を模索しています。理想のまちの未来を共有できる仲間と、個々の技術やアイデアを持ち寄って一緒に形づくる「地域デザイン」に取り組みたいですね。

異業種のコラボレーションも多いですね。

前田さん:同世代が経営する「Matsuo Nouen+Coffee」さんとは、スムージーにサツマイモを使ってもらうなど、コラボさせてもらっています。

千北さん:「松浦のおさんじ」では地元産品を加工したり松浦ならではの菓子をつくっています。新聞で紹介されて、広く知られてもらって良かったです。

事業と地域の付き合いの両立について、工夫や心掛けはありますか？

前田さん:地域団体は、まずは参加してみて、考えたらいいと思います。事業との両立が難しければ辞める選択肢もあります。私は地域団体を辞めましたが、加入してよかったことはありますし、辞めても一度できたつながりは今も続いています。

松浦市ビジネスプラン
コンテスト最優秀賞受賞者

ゼロからの創業
持ち前のスキルで人気サロンに。



柴原 美紀(しばはら みき)さん/Uターン・50代・志佐町在住
エステサロン ココローズ オーナー

エステサロン勤務時代、自身が敏感肌だったことから敏感肌の人でも気軽に通えるエステサロンの開業を決意。しかし、開業に向けて何をどうすればいいかわからず、商工会議所に相談。具体的なプランやビジョンが見えて、横のつながりもできました。松浦だったからこそ、いろいろな支援もあり、開業できたと思います。開業後は、お客様のご紹介のおかげで少しずつ広がり、今では3ヶ月先まで予約でいっぱい。松浦で開業してよかったです。

30歳で家業に向き合い
40歳で自身の店をオープン。



山下 充(やました みつる)さん/Uターン・40代・志佐町在住
Hair&Life326 オーナー

松浦市で100年続く理美容店の4代目。20歳で一度家業を離れたものの、30歳を目前に充実した暮らしを求めてUターン。40歳でヘアサロンをオープン。開業準備では、市の創業支援制度を活用。お店の設計や内装、ロゴデザインなどは地元の仲間がサポート。開業後は、宣伝をせずとも口コミでお客様が来店。松浦は、やりたいことに挑戦しやすいまちだと感じています。

【松浦市の仕事の支援情報】

ビジネスプランコンテスト
創業を予定している方を支援するとともに地域の活性化を図ることを目的として、ビジネスプランコンテストを開催。独創性や実現可能性が高いビジネスプランを発掘・支援しています。

創業支援
創業や第二創業など、新たな事業をはじめたいと考えている方に、商工会議所や商工会、金融機関と連携して、創業のためのノウハウを習得できる支援事業を行っています。

中小企業向け補助金
創業および新事業の促進・経営改革を行う中小事業者に対して、各種補助制度があります。新商品開発のための研究費や地場産品等の販路拡大のための広報費などを補助します。

【空き家バンク】
市内の「空き家」や「空き店舗」を登録し、利用希望者に紹介する制度です。

- 協力事業者一覧(連絡先)※順不同
- 株式会社グッド・ハウス ☎0956-72-3718
 - イニシャル不動産 ☎0956-76-7202
 - 信和建設株式会社 ☎0956-75-0640
 - 西九州不動産 ☎0956-72-0460
 - シゲマツ不動産有限会社 ☎0955-23-2226
 - 有限会社アオバ ☎0956-59-7779
 - ダイア不動産株式会社 ☎0955-23-2626

推進事業者
空き家活用の調査、移住プランのプロデュースを希望される方はこちらへご相談ください。kowkilab(コウキラボ) ☎0956-72-1447

松浦市のしごと

移住者も活躍！日本No.1 やオンリーワンの企業も 製造業



日本トップクラスの企業が集まる「松浦市工業会」。

松浦市工業会は、世界トップクラスのフッ素樹脂加工メーカー・中興化成工業(株)や鍛造品メーカー・近江鍛工(株)、国内唯一の製法(OPW)で作るサイドカーテンエアバッグメーカー・住商エアバッグ・システムズ(株)、国内唯一のコイルスプリングベッド製造装置メーカーの九州松下工業(株)、電力・製鉄などを中心とした大型機械・産業機械等の製造・販売を行う(株)ニッチ機械本部、合成繊維紡績糸を製造するユニチカスピニング(株)、デザイナーズ階段で全国展開する(株)稲沢鐵工、食品・自動車向けなど産業機械の開発を手掛ける(株)森システムなど、高い技術力を持つ16社の企業が所属しています。

どの企業も地元雇用を力を入れており、求人数多。長崎県プロフェッショナル人材戦略拠点「プロナ」を通じ、管理職や専門職としての登用をきっかけに松浦に移住した方もいます。Facebookページでは、松浦市工業会の活動や会員企業情報などを発信しています。



松浦市工業会
Facebook



住商エアバッグ・システムズ(株)



(株)エミネントスラックス



(株)ウエストジャパンフーズ

子育て中の女性が働きやすい企業。

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた企業の証「くるみんマーク」。松浦では、紳士スラックスの国内生産量No.1を誇る(株)エミネントスラックスや住商エアバッグ・システムズ(株)が取得し、子育てを積極的に支援しています。

また、年齢・性別に関係なく、誰もが働きやすい環境づくりに積極的に取り組む優良企業として、長崎県の認定を受けた企業の証が「Nピカ」。(株)エミネントスラックスが認定されており、同社は9割が女性社員。女性ならではの視点を活かして、子育て中の女性も働きやすい職場づくりに注力しています。

日本有数の水産拠点ならではの製造業。

松浦の水産拠点である松浦市水産加工団地(調川町)のほか、市内には多くの水産加工・製造企業があります。ブリ・トラフグ・クロマグロの飼料製造・加工及び販売を担う松浦水産(株)、ブリ・タイ・ヒラマサの養殖、養殖魚のフィレ加工及び地場魚介類の加工、活魚販売を行う(株)松浦養殖、鮮魚の出荷から海外輸出・輸入、加工品の製造・販売までグループ企業と連携して幅広く取り扱う(株)三陽など、大手企業の求人情報もあります。

日本トップレベル！ 水産業



日本一のお魚を全国各地へ提供。

松浦市が面する伊万里湾では、船曳網、定置網、刺網、一本釣り等の多様な漁船漁業が営まれています。また、ブリ、タイ、マグロ、クルマエビ等の養殖業も盛んで、養殖トラフグの生産量は日本一となっています。

令和4年3月にEU-HACCPの施設認定を受けた松浦魚市場は、アジやサバの日本有数の水揚げ量を誇り、特にマアジの水揚げ量は何度も日本一に輝いています。隣接する水産加工団地は、西九州自動車道に近く、多くの企業があり、大きな雇用の場となっています。

ほかにもいろいろ 市内産業

地域と連携した 医療分野。



松浦には、13の病院・診療所、8の歯科があります。救急医療では、かかりつけ医と救急指定病院が連携するなど、体制を整えています。

求人が多い 介護分野。



介護サービスの需要が多く、医療施設と連携した介護施設もあります。求人情報が多く、職場の選択肢がたくさんあります。

生産者一人ひとりが一経営者！ 農業



多品目の複合経営。

松浦市の中山間地域では、水稻を中心とした複合経営が盛んです。肉用牛繁殖、アスパラガス・メロン等の施設野菜、ブロッコリー等の露地野菜、ぶどう・みかん等の果樹、花き、茶、葉たばこ等多品目が生産されています。特に「松浦メロン」「御厨ぶどう」は市場評価も高く、旬の時期に開催する直売まつりは、県内外から多くの来場者が訪れます。

また、アスパラガスは、規模拡大等で生産額が年々増加し、Uターン者も就農しています。各品目、圃場巡回や農作業機械・ICT導入、選果作業の共同化等、品質向上や省力化に取り組む、産地拡大及び所得向上を目指しています。

Uターン・Iターン者の就職を応援！ 松浦高校卒業生には、まつナビ奨励金も交付！

【ふるさと就職奨励金】

Uターン又はIターン者(45歳未満に限る)が転入から1年以内に就職し、5年以上松浦市に居住する場合、就職から1年経過後に15万円分の地域振興券を交付。

さらに、松浦高校卒業生(平成30年度以降卒業)で、在校中にまつナビに取り組んでいた場合、まつナビ奨励金として5万円分の地域振興券を加算。(就職時30歳未満に限る)

松浦市の食

海の幸も、山の幸も、スイーツも!

松浦は“食のコンパクトシティ。”



鮮度抜群の海産物や農産物から、手作りの美味しさまで。

伊万里湾に面した海沿いの地域と中山間地域からなる松浦市。小さなまちですが、多様な食材が楽しめる“食のコンパクトシティ”です。海沿いでは、天然のアジ・サバやシラスの他、ワカメなどの海藻、アワビ、サザエ、ウニなど新鮮な海の幸が豊富に獲れます。山間いでは、米、野菜、果物、お茶、鶏卵などが生産され、野山には野イチゴやタラの芽が実ります。また、いりこやかまぼこ、調味料、ハチミツなど自然の恵みを使った手作りの加工品も多彩です。身近な生産者が作る良質な食材や加工品は、直売所やスーパーなどで購入できます。さらに、地元産品を使った料理を味わえる飲食店や、職人手作りのスイーツを購入できる製菓店も多数あり、観光客にも好評です。

松浦で暮らすと、とれたての魚介類、野菜や果物を職場や地域の方から頂くこともあり、移住者からは「食材の頂き物で食生活が豊かになった。」との声もあります。魚まるごと一匹や大きな野菜まるごと一玉、手間のかかった手作りの加工品など、田舎ならではの贅沢なおすそ分けに驚かれるかもしれません。

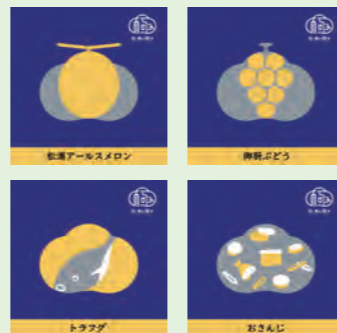
松浦のこれぞという逸品「松浦の極み」

松浦の豊富な産品の中でも核となる産品が「松浦の極み」に選定された12品目です。松浦の多様な産品の中でもこれぞという品々で、日本有数の水揚げ量を誇るアジ、1本から1玉だけ栽培される松浦アールスメロン、無添加・つなぎなしの青島かまぼこなど、生産者の優れた技術が光るオンリーワン、ナンバーワンの逸品。松浦市の戦略産品として地域ブランド化を推進中です。松浦で暮らすと、こんな高品質な産品を気軽に購入できます。

【12品目】松浦アールスメロン・松浦キンショウメロン・御厨ぶどう・アジ・サバ・トラフグ・アジフライ・いりこ(煮干し、シラス)・旬(とき)さば缶詰・青島かまぼこ・おさんじ(松浦産品を加工したスイーツ)・石工品

日本有数の水産物のまち。子どもも魚好きに!

松浦移住者からよく聞かれるのが「子どもが魚を好きになった」という声。以前は魚が苦手だったお子さんが、松浦では魚料理や刺身を好んで食べるようになったと言うのです。その理由は、産地ならではの「鮮度」。直売所に並ぶ旬で獲れたての魚には、特有の生臭さがありません。魚は、まるごと一匹から、地元の魚屋さんや漁師さんが下処理をしたフィレ、刺身、アラなど様々。鮮度が高いから簡単な調理で美味しくいただけます。



離島で暮らすちなみちゃん
魚が好きで、マグロ・アワビが大好きだそう



「アジフライ」の概念を変えたプロジェクト!

“アジフライの聖地 松浦”。

アジフライ人気で、まちもひとアゲアゲ!

松浦は、アジの水揚げ量日本一を何度も獲得している水産のまち。水揚げされたばかりのアジは、体の表面が輝き、刺身で食べると臭みもなくアジ本来の美味しさが味わえます。松浦では、そんな鮮度抜群のアジを、あえてフライにして提供。職人の技も相まって、「アジフライの概念が変わった!」と唸らせる自慢の味わいです。県外からもアジフライを求めて多くの観光客が訪れ、松浦はアジフライで熱く盛り場がっています。



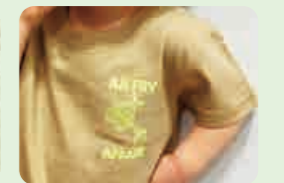
日本地域情報コンテンツ大賞2020大賞(自治体部門)受賞! 冊子の全国大会で日本一に輝いたアジフライマップ

“聖地”を名乗るだけの「アジフライ」がある!

松浦市は、2019年4月に「アジフライの聖地 松浦」を宣言。今や、35店の飲食店が個性溢れるアジフライを提供するとともに、水揚げ地や鮮度等8箇条からなる「松浦アジフライ憲章」も制定し、“聖地”の味わいを守っています。また、アジフライバーガーやサンド、アジフライの形をしたお菓子、Tシャツやキーホルダー等のグッズも人気です。伝統的な石工技術で製作されたアジフライモニュメントも必見!アジフライの聖地で世界へフライ!松浦市は本気です。



ノンフローズンもしくはワンフローズンで提供するアジフライ



市内限定で販売中のグッズ人気のアジフライTシャツはキッズサイズも

松浦市の暮らし

地域の行事から生まれる人との繋がり

地域で守り伝える、伝統・文化。

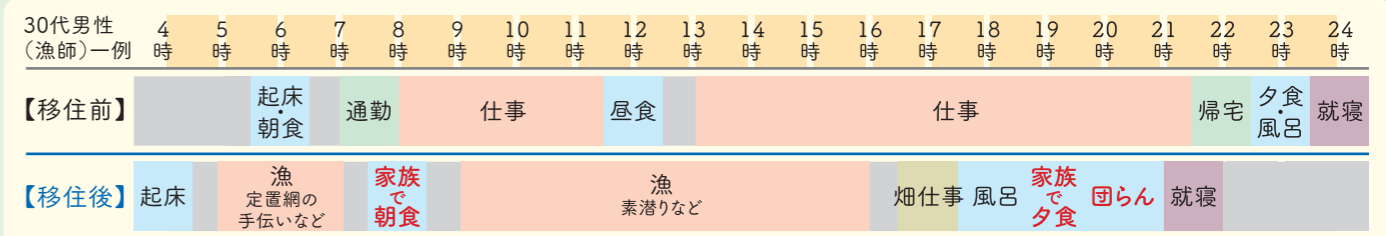


小さいまちだけれど、多様性が魅力。

松浦の地域行事には、古くから地域で受け継がれてきた伝統があり、地域それぞれの個性があります。例えば、秋の「おくんち」では、地域によって神輿、蛇踊り、太鼓や漁船パレードなど特色ある行事が行われます。地域行事は、世代を超えた交流の場として地域の絆を深める役割も果たしています。その地域ならではの人との関わりに参加してみるのもおすすめです。

家族の時間が増えた!移住前後の1日の過ごし方。

松浦へ移住を希望される子育て世代に共通しているのは、「家族の時間」を大切にしたいという思い。あるご家庭の移住前後の1日のタイムスケジュールをのぞいてみると、「家族の時間」が増えています。移住はきっかけの1つに過ぎないかもしれませんが、暮らし方や働き方を見つめ直すことで、家族や自分の時間をもちつつ、「ありがたい暮らしをつくる」という充実感に繋がります。



松浦市の地域いろいろ

しさを 志佐地域

志佐町は、松浦市の中心地という事もあり、便利で暮らしやすい街だと思います。松浦市が運営する子育て支援施設や、教育機関、医療機関、商業施設に美味しい飲食店も充実していて、小さなお子様がいるご家庭も安心して暮らしやすいです。西九州自動車道のICもあるので、福岡などにも気軽に出かけやすいですよ。



紹介する人 | 松浦 誠さん
志佐町内でガズ販売業を営む4児のパパ

- 人口:6,493人
- 名物:志佐納涼花火大会と精霊流し、志佐くんちと流鏑馬
- 特徴:松浦市の主要機関が集まる地域。商店街エリアには、居酒屋、カフェ、スナックなど飲食店や宿泊施設が多数。大型スーパーやドラッグストア、直売所、100円ショップなど買い物施設や、美容室やエステ、マッサージなどのサロンも充実。



ほしかを 星鹿地域

星鹿は新鮮な野菜や果物、海産物も沢山獲れます。中でも、アールスメロンや青島かまぼこは贈り物にも人気。きれいな海があり、海水浴や釣りなどのアウトドアレジャーが体験できます。保育園の子どもたちも毎年海水浴や磯遊びを楽しんでいて、大自然に触れることは子どもたちにとっても貴重な体験となっています。



紹介する人 | 平川 真寿美さん
保育士 3児のママ

- 人口:1,612人
- 名物:ぶどう、メロン、トラフグ、青島かまぼこ、いりこ
- 有名:長崎唯一の竹楽器楽団「星鹿バンブーオーケストラ」
- 特徴:伊万里湾と玄界灘の間にある青島も含め、定置網漁やいわし網漁、養殖業が盛ん。農業を営む人も多い。信号機のないのんびりとしたまち。毎年11月に行われる「星鹿くんち」では、約100隻もの漁船が大漁旗をなびかせて港をパレード。



つきのかを 調川地域

漁業関連の仕事に就いている人が多く、魚を頂くことが多いです。私が子どもの頃は、海で素潜りをしてアワビを獲ったり、山で川遊びをしてカニを捕まえたりカブトムシを採ったりして遊んでいました。おっとりとしていい人が多く、争いごとが少ないまちだと思います。夏祭りでは精霊船をつくり子ども向けの催しをしたり、みんな仲良しです。



紹介する人 | 村尾 一樹さん
理美容サロンルナソルテルスオーナー 3児のパパ

- 人口:2,031人
- 名物:調川精霊流し、夏祭り
- 名所:山から見える海に沈む夕日
- 特徴:魚市場や水産加工団地など、水産業の施設が集まる調川。魚市場では朝獲れの魚、水産加工団地では工場直販の加工品なども購入できる。海沿いには「つきのしま公園」があり、広い芝生広場で走り回る子どもの姿も。



かみしさを 上志佐地域

星が近くに見えるほど空気が澄んでいて、夏は涼しく気持ちがいい。昔ながらの田んぼの風景や暮らしが残っていて、子どもが育つ環境としてとても良いと思います。子どもたちの人数は多くはないですが、保育園から中学校まで一緒に成長できるので、みんな仲が良いです。家族や周りの人と助け合う上志佐での暮らしは、安心感があってとても気に入っています。



紹介する人 | 石井 大輔さん
上志佐生まれの上志佐育ち 2児のパパ

- 人口:663人
- 名所:法知岳からの景色、龍王の滝
- 名物:みかん「味っ子味まる」・ヤマメ
- 特徴:米、野菜、お茶、みかんの栽培や長崎牛の繁殖が行われている。昔から変わらない、美しい自然の風景が残っていて、龍王の滝から流れる水を利用したヤマメの釣り堀は観光客にも人気。



いまぶくを 今福地域

スーパー、ホームセンター、製菓店、薬局、郵便局など一通り揃う地域。西九州自動車道のICもあり利便性がありつつ、海も山もあり日常がキャンプのような暮らしが楽しめますよ。青年部は団結力があって、春は鯉のぼり、夏は花火、秋はおくんち、冬はイルミネーションなど、賑わいづくりに力を入れています。子どもはまちのみんなで見守っています。



紹介する人 | 福井 規さん
福井製菓舗菓子職人 趣味は釣り

- 人口:2,531人
- 有名:今福神社の早田宮司
- 特徴:今福は、「今の世に福を生ずる所」が地名の由来と言われる。山間いには芝生広場や池のある公園があり、春には桜、秋には紅葉を見ながら散策を楽しめる。また、市営野球場や工業団地もある。
- 名所:梶谷城跡とぎぎが浜から望む夕日
- 名物:おくんちの催し・和一处



ふくしまを 福島地域

福島大橋で佐賀県伊万里市と結ばれていて出掛けやすいです。西九州自動車道を使えば福岡も近く、田舎暮らしでも便利で生活しやすいまちです。町内には新鮮な魚や野菜が並ぶ直売所があり、みかん、イリコ、釜揚げしらすがお気に入りです。景観も素晴らしく、入り江から見える朝焼けや棚田の夕景に毎日心を癒やされています。



紹介する人 | 近藤 由香さん
三重県生まれ結婚を機に三重県から移住

- 人口:2,350人
- 名物:椿油、石垣だんご、押し寿司
- 名所:大山公園からのイロハ島
- 特徴:初崎公園には日本最大級の5万本もの椿が自生。「日本の棚田百選」に認定された土谷棚田では9月に「土谷棚田の火祭り」を開催。畦道に灯る約3千もの灯籠が棚田に映り、幻想的な光景が見られる。



みくりやを 御厨地域

人情のあるまちで、いざというときに助けてくれる温かい人々が暮らしています。おくんちで披露される伝統行事「御厨蛇踊り」は、地域の子どもと大人と一緒に活動し、継承。地域と学校に顔の見える関係性があり、総合学習(蛇踊り)など密に連携しています。アットホームな幼稚園や保育園があり子育て環境も良いですよ。



紹介する人 | 玉城 暢也さん
Uターンで家業のガス販売業を継承 3児のパパ

- 人口:3,843人
- 名所:大崎海水浴場の夕日、田代のコスモス畑
- 名物:古賀まんじゅう、さつまいも「シルクスweet」
- 特徴:御厨は、かつて皇室や伊勢神宮に産物を献上していた地域の名称。今も農業が盛んで、特産品の御厨ぶどう・松浦アールスメロンなどの果物や米、アスパラガス・ブロッコリーなどの多彩な野菜が栽培されている。また、製造業の企業も多数立地している。



たかしまを 鷹島地域

鷹島肥前大橋を渡り入れれば、そこは豊かな自然が広がる鷹島町。漁業や農業が盛んな町で、毎日の食卓では新鮮な魚や野菜を堪能できます。また、島ならではの支え合いや人情も魅力。温かい人々に囲まれ、地域のイベントも皆で楽しめます。人に癒され、自然に癒され、絶景を楽しみ、絶品揃いの食を楽しみ、鷹島暮らしを満喫しています!



紹介する人 | 西吉 美智子さん
福島県生まれ鷹島出身のご主人と共に東京から移住

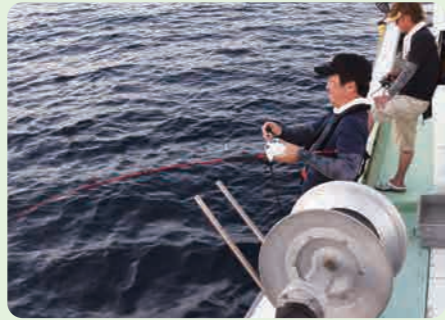
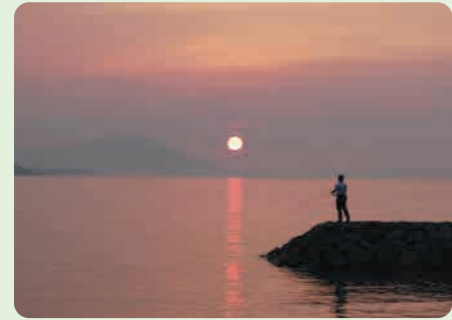
- 人口:1,805人
- 名物:新鮮な魚料理
- 名所:オアシス村〜牧ノ岳〜開田の七人塚〜船唐津の裏道から見える景色
- 特徴:ままぐらやトラフグの養殖など漁業が盛ん。北端にあるモンゴル村は、約18万㎡もの敷地に広大な草原やアスレチック遊具などがあり無料で遊べるスポット。元寇終焉の地としても有名で、海底遺跡としては日本初の国史跡「鷹島神崎遺跡」がある。



松浦市内で楽しめるレジャー

まち全体、いろんな釣りで楽しめる!

松浦は、海、船、川などの釣り場が多数あり、初心者から上級者まで楽しめます。海釣りスポットは、仕事帰りにふらっと一人で、休日に家族でと、気軽に行けるのが魅力。遊漁船では、漁師さんからの本格的な釣り体験が楽しめます。山あいには鮎釣りやフナ釣りが楽しめる川も。自分で釣ったヤマメを焼いて食べられる釣り堀は子ども連れにも人気です。道具の貸出があるので、手ぶらでもOK。海沿いの釣り堀では、大きいサイズのハマチや鯛など自分で釣るのは難しい魚が釣れると評判です。



夕日が沈むロケーションが人気。海水浴/SUP



松浦に点在する海水浴場は、遠浅で目の届く規模感。小さな子ども連れでも海水浴を気軽に楽しみやすい環境です。夕日を見ながらのSUPやウインドサーフィンを楽しむ人もいます。

海でも山でも! キャンプ



市内には、自然を満喫できるキャンプ場が5箇所。海水浴ができる場所や、水平線に沈む夕日が見られる場所、滝が見られるスポットなど多彩。福島町には、キャンプ気分を手ぶらで楽しめるグランピング施設もあります。

農漁村の仕事や遊びを本気で楽しむ! ほんなもん体験

農村・漁村の昔ながらの暮らしや仕事の体験プログラム「ほんなもん体験」。内容は、漁業、農業、郷土料理、シーカヤック、筏づくりなど様々。移住前に、松浦暮らしの体験としても、地域の人の交流のきっかけづくりとしても活用できます。(1プログラム2~3時間程度)



【お問い合わせ】(一社)まつうら党交流公社 ☎0956-41-7171 <https://www.honmono-taiken.jp/>

ひろびろ、のびのび。駐車場は無料! 子どもの遊び場!

松浦には、子どもがのびのび駆け回って遊べる公園や海が見える芝生広場などがあります。(駐車場はすべて無料) また、秋には、子どもも楽しめるお祭りなどの催しが目白押し。地元の食や仕事などを体験できる松浦ならではのイベントも開催されています。



松浦市内マップ

